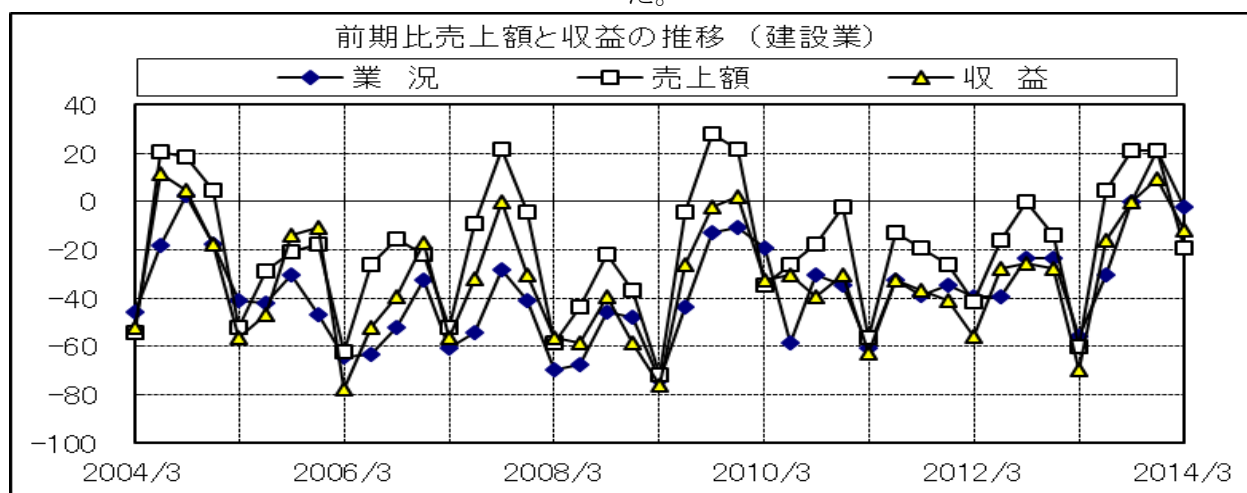


建設業 42 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-0.1	20.9	-2.4	-11.9
売上額	21.0	20.9	-19.1	2.4
収 益	-0.1	9.3	-11.9	-28.6

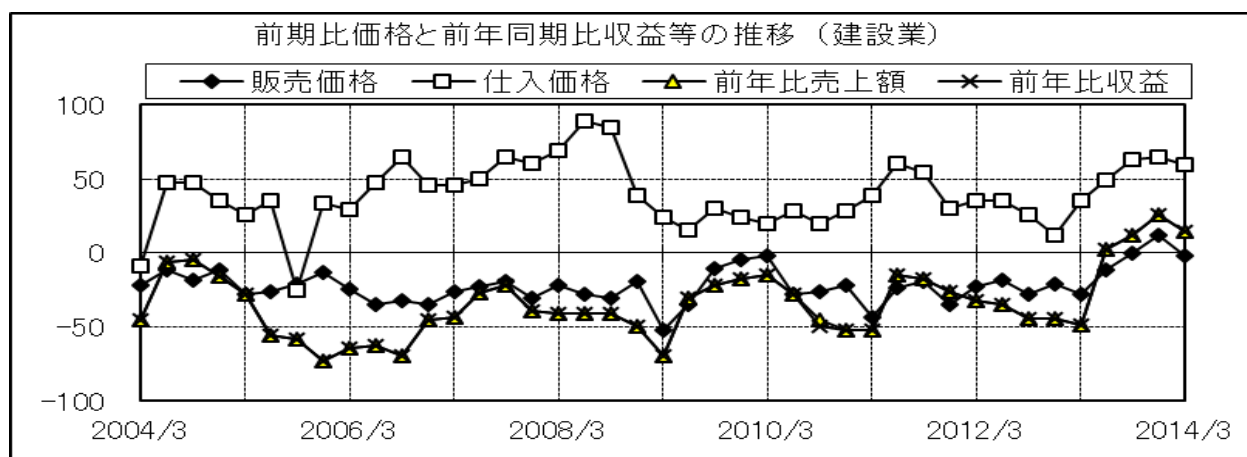
今期の業況判断DIは△2.4 と、前期比 23.3 ポイント下降した。地区別のDIの水準は高い順に、静内、様似、広尾、浦河の順で続き、その後に三石とえりもが同率で続いた。前年（△55.8）比では 53.4 ポイント上昇した。売上額判断DIは△19.1 と、前期比 40.0 ポイント下降した。収益判断DIは△11.9 と、前期比 21.2 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
請負価格	0.0	11.6	-2.4	-4.8
仕入価格	62.8	65.2	59.5	64.3

請負価格判断DIは△2.4 と前期比 14.0 ポイント下降した。仕入価格判断DIは 59.5 と、前期比 5.7 ポイントの下降で価格上昇基調を弱めた。請負、仕入価格は前年比では 25.5、24.6 ポイントそれぞれ上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	14.0	20.9	-4.7	-19.1
人手状況	-23.3	-41.9	-23.8	-7.1

残業時間判断DIは△4.7 と前期比 25.6 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断DIは△23.8 と、前期比 18.1 ポイント上昇し、人手不足感を弱めた。

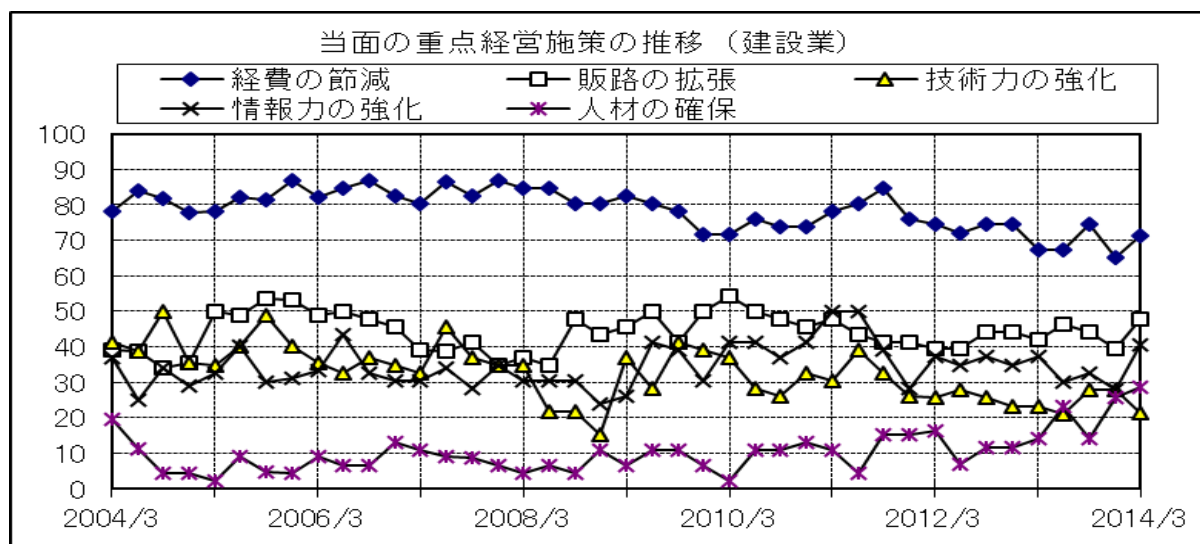
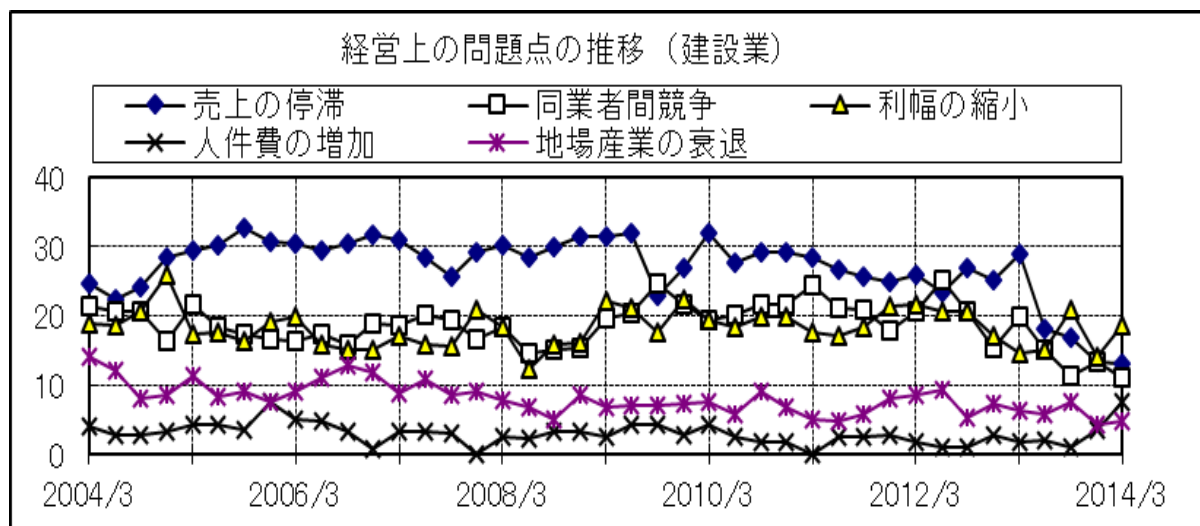
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは2.5ポイントで、前期比23.4ポイントの上昇となった。
設備投資実施企業割合は26.2%と、前期比0.6ポイント上昇、前期と同数11社の実施となった。来期の設備投資も今期と同数、11社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「利幅の縮小」をトップに挙げ18.7%、「材料価格の上昇」15.9%、次に「売上停滞減少」13.1%、「同業者との競合」が11.2%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ71.4%、次いで「販路を広げる」47.6%、「情報力の強化」40.5%で続いている。「人材の確保」も28.6%と高い値を占めている。



来期の見通し

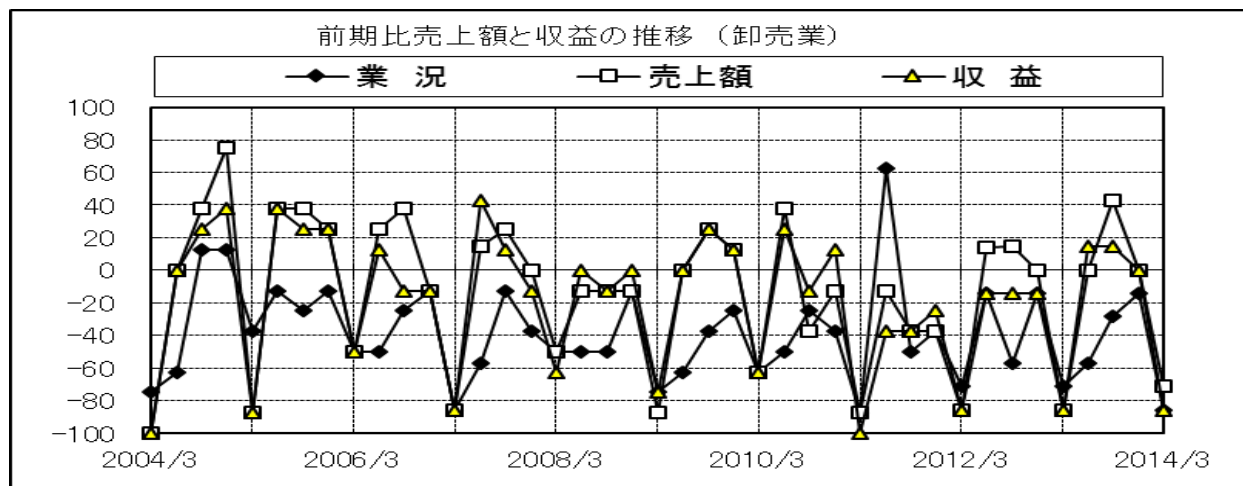
来期の予想業況判断D Iは△11.9、今期比9.5ポイントの下降を見通している。
予想売上額判断D Iは2.4と、今期比21.5ポイントの上昇を見通している。
予想収益判断D Iは△28.6と、今期比16.7ポイントの下降を見通している。
予想請負価格判断D Iは△4.8と、今期比2.4ポイントの下降を見通している。
予想仕入価格判断D Iは64.3と、今期比4.8ポイントの上昇を見通している。

卸 売 業 7 企 業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
業 況	-28.6	-14.3	-85.8	-57.2
売上額	42.9	0.0	-71.4	0.0
収 益	14.3	0.0	-85.7	-14.3

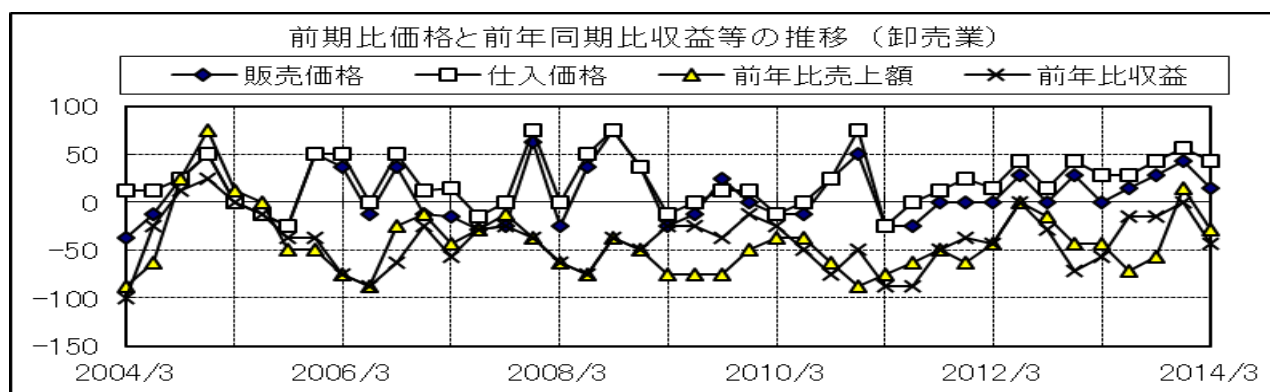
今期の業況判断DIは△85.8と、前期比71.5ポイントの下降となった。地区別水準は、静内をトップに、浦河、三石、様似が同率で続いた。前年（△71.5）比では14.3ポイントの下降となった。一方、売上額判断DI、収益判断DIはともにゼロ水準から、前期比それぞれ71.4、85.7ポイントの大幅な下降となった。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
販売価格	28.6	42.9	14.3	42.8
仕入価格	42.8	57.2	42.8	42.9

販売価格判断DI 14.3は、前期比28.6ポイント下降した。仕入価格判断DI 42.8は、前期比14.4ポイント下降した。業種別にみると、水産は販売、仕入価格ともに下降。一方、食品は販売価格、仕入価格ともに上昇した。前年比でみると販売、仕入価格は14.3、14.2ポイントそれぞれ上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9 月 期実績	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期見通し
残業時間	-14.3	42.9	-28.6	14.3
人手状況	-28.6	-28.6	14.3	14.3

残業時間判断DIは△28.6で前期比71.5ポイント下降、残業時間「減少」企業の割合が、残業時間「増加」の企業割合を上回った。

人手過不足判断DIは前期比42.9ポイント上昇し、人手「過剰」超となった。

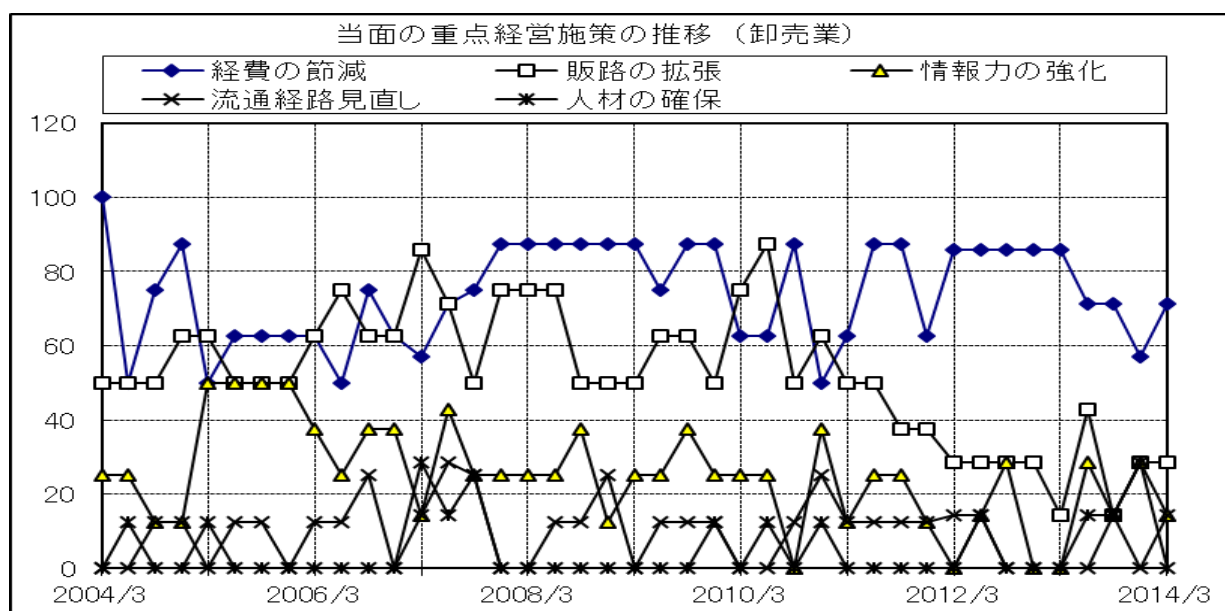
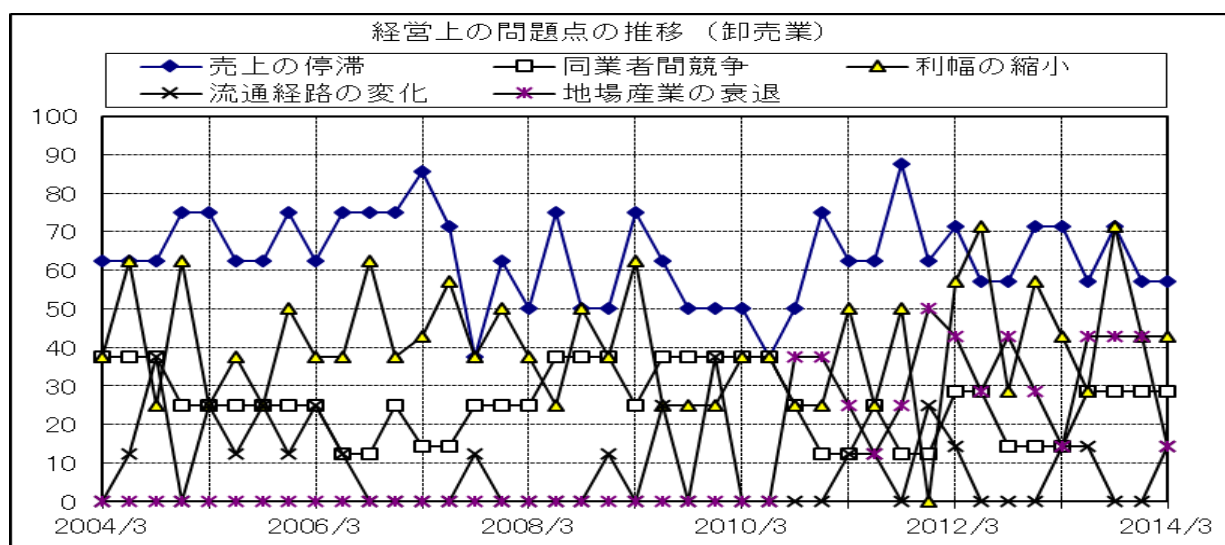
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD Iは、前期横ばいのゼロ水準となった。設備投資実施企業は、前期の4件から1件へ、来期の設備投資の予定は、今期同様の1件となった。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」57.1%、「利幅の縮小」・「取引先の減少」が同率の42.9%、「同業者との競争」・「天候の不順」が、それぞれ28.6%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ71.4%、次いで「販路の拡張」が28.6%となっている。「品揃えを充実」、「情報力を強化」、「新事業を始める」、「教育訓練を強化」、「流通経路を見直す」、「不動産の有効活用」が、いずれも14.3%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△57.2で、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D Iは今期△71.4からゼロ水準へと上昇を見通している。

予想収益判断D Iは△14.3で、今期比71.4ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D Iは42.8で、今期比28.5ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D Iは42.9で、今期比0.1ポイントの上昇を見通している。